



ご挨拶

本日は“*A-Winds 28*”2008年 秋の演奏会にお越し下さり誠に有難う御座います。「こころ豊かな文化の香り高き町:大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で皆様方にこうしてお逢いすることができましたことに、*A-Winds* 団員一同、心より感謝しております。

1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来、1999年秋の“デビュー演奏会”を始めに、四季折々に開催してきた、*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラの定期演奏会も、おかげさまで28回目を迎えることができました。これも我々*A-Winds*の活動、そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援あってのことと感謝しますとともに、団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。

時が経つのは早いもので、吹奏楽編成をアンサンブルという少人数の演奏スタイルの延長上と位置づけて、*A-Winds*が万葉浪漫の奈良の都に発足したのはちょうど9年前です。発足当時に、『鶴は千年、亀は万年と言われるように、派手さは無いけれどもいつまでもコツコツと続けられるように』と、亀のイラストを団のロゴに取り入れ、いつまでも同じメンバーで、良い音楽活動が続けられるようにと皆で願い、演奏会よりも何よりもまず先に開催した団の発足パーティーのことを、まるで昨日のおよびおまえています。来年10年目を迎えるにあたり、5月には、日本屈指のコンサートホールでもある、ザ・シンフォニーホールで、大阪を代表する吹奏楽団、三木ウインドフィルハーモニーさんとジョイントで“ジョイフルプラス”を、そして秋には一つの節目となる“10周年&30回記念演奏会”をと、10年を迎えるイベントも目白押しです。

50人の奏でる音楽が、いつまでも皆様の心の中で、鳴り響き続ける音楽でありますようお願いを込め、団員を代表しまして一句詠ませていただきます。

万葉に 浪漫奏でる 金銀の亀

今後とも、温かい御指導、御支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

本日は“*A-Winds 28*”2008年 秋の演奏会にご来場いただき、ありがとうございます。今回は「ダンス!ダンス!ダンス!」というテーマで、ダンスにまつわる曲を集めてみました。まずは、世界的に有名なミュージカルのウェストサイドストーリーセレクションから始まります。そして、交響的舞曲、ジャマイカ民謡組曲と、楽しく幅広い曲が続きます。

また、第1部と第2部のメインには、吹奏楽をしたことのある方ならおなじみのアルフレッド・リードの作品から、「バレエの情景」と「アルメニアンダンスパートI」を演奏いたします。

更に今回は、奈良県出身で、現在大阪音楽大学在学中の新人作曲家、菊一旭大さんが作曲された「IMAGE」という曲を演奏します。あまり聞かれたことがない方が多数だとは思われますが、是非この機会にお聞きいただき、菊一さんの今後のご活躍を注目して下さい。

それでは、最後までごゆっくりお聴きください。

“*A-Winds 28*”2008年 秋の演奏会 実行委員長 小倉明花



ご案内

“*A-Winds 29*”2009年 春の演奏会

2009年3月15日(日) 14:00開演 やまと郡山城ホール大ホール

“*A-Winds 29*”では、「21世紀の吹奏楽」と題して第1部で21世紀の邦人による吹奏楽オリジナル曲を、第2部で20世紀の外国人作曲家による曲を演奏します。

どちらにも趣向を凝らした企画が盛り込まれていますので、一味違う*A-Winds*をお楽しみ下さい♪

“*A-Winds 29*”2009年 春の演奏会 実行委員長 上野遼太・尾登勇介



A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo 佐藤 由加里
Flute 佐藤 司
魚谷 陽子
古川 恵理
浅野 美音♪
Oboe 深沢 亮子
篠藤 文子☆
Eb Clarinet 長尾 恭子
Bb Clarinet 吉崎 淳子
竹村 明恵
大江 奈々
森本 幸恵
後藤 咲妃♪
辻田 綾子♪
上野 彩香♪
八木 望 ♪
山本 愛美
藤岡 宏樹
Alto Clarinet 大西 晴巳
Bass Clarinet 小山 優美
Bassoon 満江 孝文
Alto Saxophone 島田 博一
三宅 利幸☆
Tenor Saxophone 初岡 和樹
Baritone Saxophone 宮本 祐輔♪
吉村 由夫◇
Horn 久野 耕三
次田 哲平
小林 計昭
大田 雅美
山藤 恵美

Trumpet 魚谷 昌克
表 恭子
吉川 茂宏
篠木 章江
山本 洋介
小倉 明花
乙川 佳世
Trombone 萱原 淳嘉
小泉 文浩
田中 真二
鈴木 恵子♪
上野 遼太♪
Euphonium 大西 善郎
尾登 勇介♪
藤村 晃世♪
Tuba 平 涼美◇
堤 正治郎☆
St. Bass 佐藤 良一☆
Percussion 平井 晶
荒井 智子
谷口 麻子
辻 歩
久保 寛美
川本 理恵◇
豊川 史香
河津 雅之☆
Piano 八木 真木◇

☆エキストラ
◇休団
♪A-28演奏会実行委員



A-Winds メンバー募集

- 募集パート
 - ・オーボエ(イングリッシュ・ホルン) / 1名
 - ・ファゴット / 1名
 - ・チューバ / 2名
 - ・コントラ・バス / 2名
- A-Winds*の活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
- ご自分で楽器を準備できる方
- 全ての活動に賛同頂ける方
- 18歳以上の方
- 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



2008年11月30日(日) 13:30開場 / 14:00開演
やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ
後援 ● 大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



プログラム



曲目解説

◇第1部

ウエストサイドストーリーセレクション——指揮者：佐藤 司

WEST SIDE STORY Selection

作曲者：レナード・バーンスタイン／Leonard Bernstein

編曲者：W.J.Duthoit

出版：BOOSEY & HAWKES, Inc.

IMAGE～A distance of the horizon～

作曲者：菊一旭大／Kikuichi Teruhiro (2008)

未出版

組曲第3番「バレエの情景」——指揮者：魚谷昌克

Third Suite for Band (Scenes de Ballet)

1. ファンファーレと序章／Fanfare and Intrada

2. パ・ド・ドゥ／Pas de Deux

3. 風変わりなポルカ／Porka Excentrique

4. 全員の踊り／Danse Generale

作曲者：アルフレッド・リード／Alfred Reed

出版：PIEDMONT MUSIC COMPANY, INC.

◇第2部

交響的舞曲第3番「フェスタ」

Symphonic Dance No.3 "FIESTA"

作曲者：クリフтон・ウィリアムズ／Clifton Williams

出版：SAM FOX PUBLISHING COMPANY, Inc.

ジャマイカ民謡組曲

Jamaican Folk Suite

1. メント/Ment

2. プロムナード/Promenade

3. ジャンプ・アップ/Jump-up

作曲者：ハロルド・L・ウォルターズ／Harold L.Walters

出版：Rubank, Inc.

アルメニアンダンス パートⅠ

Armenian Dances Part I

あんずの木～やまうずらの歌～ホイ、私のナザン～アラギラス～行け、行け

TZIRAN TZAR(The Apricot Tree)～GAKAVI YERK(Partidge's song)

～HOY,NAZANEEM～ALAGYAZ～GNA,GNA

作曲者：アルフレッド・リード／Alfred Reed

出版：SAM FOX PUBLISHING COMPANY, Inc.

■ウエストサイドストーリーセレクション

1953年に初演されたウエストサイドストーリーは、20世紀が生んだミュージカル最高傑作と称され、永遠のスタンダードとして、現在も世界中で上演され続けています。

物語はシェイクスピアの『ロメオとジュリエット』の構図を下敷きにしており、ニューヨークのダウタウン“ウエストサイド地区”で繰り広げられる不良少年たちの抗争を背景に、敵同士にもかかわらず恋に落ちてしまった主人公トニーとマリアの苦悩と悲劇を描いています。

「セレクション」は、世界中で大ヒットしたナンバー「トゥナイト」、劇中で決闘の前に歌い踊る「クール」、プエルトリコ系移民の女の子たちが歌い上げる「アメリカ」などをはじめとする、よく知られている名曲の数々がメドレーになっています。

■IMAGE～A distance of the horizon～

この作品のイメージは水平線、地平線の向こうです。

地球が丸いと証明される以前、「目には見えない先には何かあるだろう？」と昔の人々は様々な考え、想像があったことでしょう。また現在においては、自分の目の見えないところで戦争や紛争、内戦など様々な問題が起こっています。自分の目には見えない先の想像とその先での平和、そして「世界平和」を願って…。

曲の最初は静かに低音部のロングトーンで始まり、ホルンのソロがテーマの提示を奏でます。その後木管楽器にテーマが引き継がれていき、次第に重々しい雰囲気ファンファーレに入ります。その後テンポを速くし、様々な問題・戦いに立ち向かっていくところを表します。中間部で一度ゆったりしたテンポに入り、平和の願いをイメージした新しいテーマをアルト・サクスのソロが奏し、進行していきます。最後にはまたテンポが早くなり、また様々な問題・戦いに立ち向かっていくところを表していきますが、その後明るい平和への願いをイメージしたテーマの再現を壮大に演奏し、曲を締めくくります。

2008年4月6日、奈良育英学園吹奏楽部の演奏で初演されました。

■組曲第3番「バレエの情景」

ミネソタ州ブルーミントンにあるトーマス・ジェファーソン高校バンドの委嘱により、1981年に作曲されました。曲はサブタイトルにもあるようにバレエの情景を描いた音楽で、華やかなファンファーレが印象的な『ファンファーレと序章』、主役の男女2人の優美な踊りの『パ・ド・ドゥ』、変拍子が効果的で軽快な『風変わりなポルカ』、そして終曲にふさわしく劇的なムードの『全員の踊り』の4つの楽章から構成されています。

■交響的舞曲第3番「フェスタ」

この曲を含む「交響的舞曲」の原曲は全5曲からなる管弦楽作品で、作

曲者がフレンチ・ホルン奏者として所属していたテキサス州にあるサンアントニオ交響楽団の委嘱により作曲され、後に作曲者自身によって吹奏楽版に書き下ろされました。もとの5曲の中の第3番目の曲がこの“フェスタ”で、古くから中南米との交易で栄えてきたサンアントニオ市の、市民にしっかりと根付いているメキシコ風の興奮と色彩とを再現した作品となっています。

■ジャマイカ民謡組曲

「原住民が「ザイマカ“Xaymaca”木と水の大地）」と呼ぶ常夏の楽園ジャマイカは、白い砂浜の美しいカリブ海や、霧につつまれ霞がかかったように青い亜熱帯森林の山々など大自然に恵まれ、世界中から注目されているリゾート地です。

この曲は、題名どおりジャマイカの民謡をいくつか入れて組曲にしたもので、『メント』『プロムナード』『ジャンプ・アップ』の3曲からなっています。

■アルメニアンダンス パートⅠ

中央アジア西部に位置するアルメニア地方は、古くから東西南北の重要な交易ルートの合流地点にあり、複数の民族と宗教が混ざり合った独特の文化風土を持っています。この曲の素材となっているのはこの地方の民謡や舞曲で、“あんずの木”、“やまうずらの歌”、ナザンという少女に対する若者の愛の歌“ホイ、私のナザン”、アラギラスという山を歌った“アラギラス”、そしてロシアのコサック・ダンスのように軽快な“行け、行け”の5曲で構成されています。また、出版の都合により分けられた『パートⅡ』とともに全曲演奏されることもあります。



プロフィール

■A-Winds奈良アマチュアウィンドオーケストラ

A-Winds奈良アマチュアウィンドオーケストラは1999年10月、古都奈良に誕生したアマチュア吹奏楽団です。

「A-Winds (エー・ウィンズ)」の“A”は「アマチュア(Amateur)」の“A”であり、アマチュアならではの音楽づくりを追求することを標榜しています。演奏者一人一人の音楽づくりを演奏に反映できる、管打楽器アンサンブルの延長上としての最小人数の吹奏楽＝ウィンドアンサンブルを指向し、また、吹奏楽の特性を最大限に発揮できる吹奏楽オリジナル曲を中心に取り上げていくことを活動方針としています。